

さあ、新しい一年が始まりました。
今年も良い年でありますように…。気分も新たに安全運転で！

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



雪崩・・・

この映像の訴求ポイントは…

- ◎屋根の雪は面倒でも下ろしましょう。
- ◎前に落ちれば視界をふさぎ、後に落ちれば後続車に迷惑。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



やっぱり交差点は注意しましょう！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎いくら道に慣れても、見えないところは見えません。
- ◎出会い頭では、見えないところが見えてから動くのが鉄則。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



赤信号の見落としで相手の車と衝突

この映像の訴求ポイントは…

- ◎人が注意できる量には限りがあります。注意容量と言います。
- ◎他のことに気を取られると、目では見ても脳が見ていません。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



左車線より急に車が出て危機一髪停車しました！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列にさしかかったら、ブレーキに足を移動しましょう。
- ◎物陰から出てくるのは、車だけではありません。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



このバカタレが

この映像の訴求ポイントは…

- ◎横断歩行者がいたとしたら、たぶん同様のことが起きたはず。
- ◎車間距離を空けましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】雪のある地域でのドライブに必要な知識をおさらいしましょう

この季節、スキーを楽しむ方も多いと思います。今回は雪が多い地域でのドライブに必要な知識をおさらいしましょう。

最近スタッドレスタイヤだけで、クルマにチェーンを載せていない人も少なくないようですが、山の上にあるスキー場などでは勾配のある場所も多く、スタッドレスタイヤでは登り切れないこともあります。念のために必ずチェーンも載せていくようにしましょう。チェーンは駆動輪に装着します。4WDの場合も、原則として同じ車種に2WDのモデルがある場合は、その駆動輪と同じ方に付けます。

雪が多い地域での駐車は、次に出発するときに、もっと条件が悪くなっていることを考えて止めるのがコツ。たとえば、できるだけ前進で出られるように止めておくとか、出発時に上り傾斜になる場所は避けるとか。駐車枠の中では、できるだけ通路側に寄せて止めた方がいいでしょう。奥は雪の吹き溜まりになる可能性があるし、万が一スタックしたときにも、後ろにスペースがあると脱出作業がやりやすくなります。また、左右に傾斜している場所は、次の発進時に横滑りの原因になるので、できるだけ避けましょう。駐車時にパーキングブレーキをかけない（マニュアル車ではギアをローかバックに）、ワイパーを立てておくこともポイントです。駐車中に窓ガラスが凍ってしまったときのために、解氷スプレーを用意しておくのもラクです。

雪の多い地域で車を駐車していると、翌朝に車の屋根に大量の雪が積もっていることも。屋根の雪をそのままにしておくと、ブレーキをかけたときに雪がフロントガラスへずり落ちてきて、前方の視界を奪ってしまう危険があります。また、後に雪が落ちた場合には、後続車に迷惑がかかる可能性もあります。出発時には、雪下ろしを忘れずに。

最後に、ディーゼル車に乗っているなら、寒冷地へ行ったらまず現地で給油。なぜかという、軽油の成分は地域や季節によって違って、普段のままの軽油で寒冷地に行くと凍ってしまうことがあるからです。寒冷地で売られている軽油は凍結しにくい成分になっているので、凍ることはありません。寒冷地へ出かけるときには、現地ですぐに給油できるよう、燃料の量を調整しておくといいでしょう。また、凍結を防ぐ添加剤もあるようですので、スタンドなどで聞いてみるのもいいでしょう。ちなみに、寒冷地で入れた軽油で暖かい地域を走ることは問題ありません。

